

ふれあい

2020

11

No.404

牛久愛和総合病院 広報誌



地域医療連携室のご紹介

地域医療連携室 課長 福西 義衛門



皆様は地域医療連携室とお聞きになり、どのようなイメージをお持ちになれますでしょうか？

名前はお聞きになられた事はあるが具体的な業務内容についてはあまりご存じでない方もいらっしゃるのではないかと思います。

一言で申しますと「患者さん

が地域で適切な医療を受けられるようにご支援する裏方」で御座います。と同時に、地域のかかりつけの医師に対しては病院の顔としての窓口業務も担わせて頂いております。

地域医療連携とは、地域内の医療機関がそれぞれの施設の特色に応じて、機能分担や専門化を進め、連携して効率的な医療サービスを地域の患者さんへ提供していくシステムです。

大きな病院に軽症の患者さんが集中するために、待ち時間が長くなったり、重症患者さんの診療に十分な時間をかけられなくなったりする事態を解消するために生まれた仕組みです。

牛久・龍ヶ崎・つくば・取手・

つくばみらい・阿見・土浦地区にはたくさん診療所やクリニックがあると思いますが、地域

医療の在り方としてはまずは患者さんの事をよく知っているかかりつけの医師が日常の診療や健康管理を担い、専門的な検査・治療・入院が必要となった場合には、大きな病院へ患者さんをご紹介する仕組みになっており

ます。

地域医療連携室の私たちは、ご紹介いただいた患者さんへスムーズに医療が提供できるよう準備し、当院での治療が困難な場合、医師の指示のもとで、適切な治療が受けられる病院への転院や外来予約の調整なども行っています。

患者さんの病態が落ち着いたところで、元の医療機関、地域の医師へバトンタッチさせていただきますが、この際病院で行った検査や診察の結果報告も一緒に伝えさせて頂いております。

当院では医療事務職が窓口になり地域のかかりつけの医師と密接な連携を図り患者さんの健康を最優先に考えた連携が図れるように日々心掛けて業務をさせて頂いております。

地域医療連携室は患者さんと直接お会いする機会は少ない部署では御座いますが、地域の皆様がより良い医療を円滑に受けられるように日々精進して参りますので、今度とも宜しくお願ひ申し上げます。

災害拠点病院の 指定病院となりました

救急医療科部長兼救急・外傷センター長 佐藤 孝幸

9月30日、災害時に24時間体制で傷病者を受け入れる「地域災害拠点病院」として、新たに牛久愛和総合病院が承認されました。

災害拠点病院とは、地震等の災害が発生し、通常の体制での医療提供が困難になった医療機関に対し、都道府県知事の要請により傷病者の受け入れや医療救護班の派遣等を行う病院です。

災害拠点病院では、被災者の受け入れ体制はもちろん、物資やエネルギーの備蓄、建物の耐震性などが備えられており、災害発生時においても病院機能を高いレベルで維持できるような体制が整っております。

また、他県での災害の発生に対しても医療出動を行う体制【災害派遣医療チーム（DMAT）】が整備されており、内外を問わず災害時医療の提供を行うことができるように指定されたものです。

今回、取手・竜ヶ崎医療圏では当院が3病院目の指定となります。

これからも地域の皆様により良い医療を提供できるよう努めてまいりますので、宜しくお願い申し上げます。



化学療法で お口の管理は なぜ必要？

歯科口腔外科 部長 河地 誉

◆化学療法は、がん細胞だけでなく、正常な細胞にも影響を及ぼします。そのため、さまざまな副作用が出てしまいます。お口の中にも粘膜炎や口腔乾燥、味覚障害、口腔カンジダ症などの副作用が出てきます。粘膜炎の痛みなどの副作用が原因で、食事が食べにくくだけでなく、全身状態が悪化することで治療が続けられなくなってしまうこともあります。

歯科口腔外科では、口腔粘膜炎の予防と治療や、その他合併症への対応を行います。

具体的な対応として、

- ◆お口の検査（歯、粘膜、入れ歯の状態など）を行います。
- ◆歯ブラシではとれない汚れを専門器具を用いて清掃します。
- ◆口腔清掃方法などのアドバイスをしています。
- ◆粘膜炎や口腔カンジダ症などの治療を行います。

入 職 者



10/1付入職
腎臓内科医長
松永恒明

担当…火曜午前、木曜午後
専門とその紹介…腎臓を中心に内科一般の診療を行います。また、透析患者さまの診療にも尽力していきたいと考えています。

出身大学…筑波大学
趣味…映画、姉妹の飼育、ブラモデル、巨人の応援



10/1付入職
血液内科
渡邊真威

担当…火曜午前、木曜午後
専門とその紹介…血液内科を専門としています。血液内科関連で何かありましたら、声をかけて頂ければと思います。

出身大学、その他の経歴…聖マリアンナ医科大学を卒業、同大学病院で初期研修。深谷赤十字病院、東北大学病院、仙台医療センター、筑波大学附属病院をへて、当院勤務となりました。

趣味…歴史

10月1日付

■春秋園

■ケアサービス部

山田 政志

ご利用者様とのふれ合いを大切にし、日々の生活を楽しくしてもらえる様に努力していこうと思います。

10月16日付

■看護部

■看護助手

鈴木 紘子

2年程前に入院したのがきっかけで看護助手になりました。笑顔と明るさで務めていきます。

■春秋園

■ケアサービス部

介護福祉士 佐藤 知代

早く環境に慣れ、利用者様とのコミュニケーションをとり笑顔がでるように努力したいと思います。



春秋園だより

今までとは違う夏が終わり、過ごしやすい秋になったのに、体がだるい、疲れやすい、食欲が出ないなど体の不調が続いている状態はありませんか。もしかしたらそれは「秋バテ」かもしれません。夏から秋にかけての気温の変化の繰り返しで自律神経のバランスが乱れる事が原因のようです。日本には四季があり自然の移り変わりが見られますが、季節が変わる時は体調を崩される事が多いので気を付けてお過ごしください。

春秋園ではコロナ対策の一環として行事の自粛が続いています。そこで心配されるのが「認知症が進行するリスク」



です。今まではご家族との面会、行事への参加を楽しみにされていたが中止となっているのが現状です。2階においては9月21日敬老の日に紅白饅頭でお祝いを、喜寿、傘寿、米寿の利用者様には記念の写真入り色紙が贈呈され

沢山の素敵な笑顔が見られました。又、初めての試みとして現在3、4階の利用者様にはリモート面会を実施しております。ご希望の際はお気軽にお申し付けください。

コロナ禍、今までとは違う価値観での生活、コロナの詳細が分からない状態で未知の対応をしなければなりません。春秋園では利用者様には居室の換気、手洗い、手指消毒等、職員においてはマスク着用、手洗い手指消毒、出勤時の体温測定、行動履歴記録等行っております。

一日も早くコロナが終息し普通の生活が出来るよう願っています。感染予防のため免疫力を高める食事(タンパク質、ビタミン)をしつかりとって乗り越えていきましょう。

(春秋園入所スタッフ一同)

《出来事ピックアップ》

院内感染対策・医療安全講習会

今回の院内全体講習会では3密を避けるため、今までの集合形式を中止しメール配信による資料・設問配布に方法を変えて開催し、設問の解答用紙提出にて出欠をとる事にしました。

講習会テーマは、感染制御部門ではCOVID-19感染対策「手指衛生」と「个人防护具の着脱」について、医療安全部門では「緊急時の対応」と「救急蘇生法の指針2015【BLS】」に焦点を当てました。

結果、出席率が100%と素晴らしい成績を残す事ができ、期日も厳守していました。ここ数ヶ月、COVID-19感染対策を院内全体で取組み、部署間での共同活動により、院内の団結力が更に強まった事が出席率アップに影響していると思われる瞬間が幾度と感じられます。

この勢いで今後も院内感染防止及び医療安全対策に職員一丸となり努めていきたいと考えています。

以前の様な方法での全体講習会を開く事は今後も難しいですが、今できる方法を模索しながら、次回の講習会も企画していきたいと考えています。

(医療安全推進室室長 古木 和哉)

Dr趣味リレー

研修医 友常 佑紀

今、私の日々は医療とヨガの2本立てでできている。ヨガと出会ったのは5年前、試験勉強で肩がカチコチだった私は、「心と身体が整う」なんていう台詞に引き寄せられて、近くの教室へ通い始めた。ヨガを続けるうち、本場でもっと学んでみたい！そんな思いが生まれ、インドまでヨガ修行の旅に出た。

そこでの出会いは新しいことばかりで、胸を射抜かれ続ける感覚。ヨガは生き方全てだった。アーサナというポーズ、呼吸、瞑想に始まり、インド医学、哲学、食事や生活等々あらゆるものが含まれている。これを深めていくことがヨガの道、ということだった。ところが、ポーズひとつにしても正しく深めるのは至難の業で、毎日滝のような汗をかくて、少しずつ少しずつ分かるようになってくる。自分の全てとしっかり向き合う日々。本質を知るのにはこんな真剣にやらなければいけないなんて。難しいけれど、苦しいけれど、楽しい！まさに修行の日々だった。

そして1番の驚きは、身体がどんどん軽くなり、嘘のようだけれど、以前より幸せを感じやすくなったこと。真剣に向き合い、実際にアクションを起こすと、小さな変化に気付いたり、有り難く感じたりするようになるらしかった。

まだまだ初心者だけれど、師匠の教えを実践していきたいと思う、ちよっぴりインドかぶれな私である。

体力アップ教室

当院リハビリテーションセンターでは、毎年、牛久市と一緒
に、「体力アップ教室」を開催
しています。体力アップ教室は、
介護保険制度の中の総合事業に
位置付けられるものです。総合
事業とは地域の65歳以上の方全
てを対象とし、要介護状態にな
らないようにする取り組みのこ
とです。今年度は新型コロナウイルス
の実施が行えなかった為、牛久
市の協力の元、市役所内の保健
センターにて行っています。

(理学療法士 主任 関一博)



教室自体は3ヵ月程度で終わ
ってしましますが、重要なこと
は教室で体験したことや学んだ
ことを、その後も継続すること
にあります。その為にはどうす

編集だより

日々寒さが増していま
すね。今年はコロナとイン
フルエンザの同時流行
が懸念されています。感
染対策をしっかりと行い
両方とも予防していきま
しょう。(S・S)

病院理念

我々は医療全般は基より、3つの柱「救急
医療」「予防医療」「高齢者医療」を通じて
地域住民の皆様に最高の医療・福祉を提供
すると共に、職員一同自己研鑽に励みます。

病院概要

病床数 489床 (一般391床 医療療養型55床
地域包括ケア43床)

施設

敷地 59,449.60㎡ 駐車場 1151台



診療科目

【一般外来】

内科、消化器内科、循環器内科、心血管外科、血液内科、
腎臓内科、神経内科、呼吸器内科、糖尿病・代謝内科、
リウマチ科、小児科、眼科、泌尿器科、皮膚科、整形外科、
脳神経外科、形成外科、救急科、外科、乳腺外科、消化器外科、
耳鼻咽喉科、産婦人科、歯科口腔外科、甲状腺・内分泌外科

【専門外来】

内 科 (禁煙外来)
整形外科 (股関節、脊椎、スポーツ、肩関節、膝関節)
小 児 科 (小児循環器、小児心理、小児免疫)
皮 膚 科 (レーザー外来)
外 科 (下肢静脈瘤外来)
ストーマ外来
そけいヘルニア専門外来
透析外来
内視鏡検査
検診検査 (乳がん検診)

日本医療機能評価機構認定病院
医療法人社団 常仁会

救急 24時間

牛久愛和総合病院

〒300-1296 茨城県牛久市猪子町896番地
Tel 029-873-3111 Fax 029-874-1031
ホームページ <http://www.jojinkai.com>

《関連施設》

総合健診センター Tel 029-873-4334
健康増進施設 スポーツリラックス Tel 029-874-8791
人工透析センター
地域リハ・ステーション
介護老人保健施設 春秋園 Tel 029-870-3100
特別養護老人ホーム グランヴィラ牛久 Tel 029-817-5111

